

下

牒雜第四拾五號

七月二十日

大臣



英國巡洋艦代用船（一八九六、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百）

新海軍豫算案ニ拠テ英國巡洋艦代用船ニ下附スル補助金ハ

昨年度ニ比シテ實際増額ナキカ如シ即チ補助金ヲ受クル船舶ハ

都合十一隻其船主ハ「キエナード」、「ポアイト」及「カナデヤン」

「四會社」ニシテ「キエナード」、「ポアイト」及「カナデヤン」

ノ船舶ヲ別ニ補助金ヲ受ケスニ海軍本部ノ配下ニ保タシムル筈ナリ

補助金ノ額ヲ記スルハ「キエナード」會社ノ「カムパニヤ」及「ルーカニヤ」

五百磅（其他同會社ヨリ補助金ナシ）「ポアイト」會社ノ「マセス」

ニツク「号」ハ七千三百九十六磅ト七千二百八十五磅（其他同會社ヨリ補助金ナシ）

「ロイヤル」會社ノ「ヒマラヤ」及「オウストラリア」

「トリヤ」及「アールカダヤ」



又「カナダヤンパシフィック」會社、「インディヤ」及「ジャパン」ノ三コトプレス「号」ハ  
合セテ七千三百十三磅ナレハ補助金總計四万八千六百二十磅ニシテ昨  
年、四万五千四百七十三磅ニ對シテ幾分ヲ増加シタルハ主トシテ「ホル」カニヤ  
号ノ補助金ヲ増シタルニ由ル

英國現在ノ巡洋艦代用制度ハ右ノ船舶ニ止マレヒ夫、ニ「エー」ジ「ラ」ント  
ニ通商スル数隻、如キ南阿弗利加線ヲ往復スル汽船、如キハ皆  
有力有用ノ者ニシテ其他英吉利海峡ヲ航行スル船舶ノ多クハ有事  
ノ日之ニ數門ノ速射砲ヲ裝備スレハ能ク偵察艦ノ任務ヲ果スヘキ  
者ナリ此ノ制度ニ就テ独逸ニ甚々完備シ佛國ニ於テハ「ガム」ヤニヤ  
号大ノ汽船ヲ巡洋艦代用船ニ適セシメ且ツ内國製ノ者ナレハ前  
示十ニ復ノ英船ニ下附スル補助金金額ヲ受クク又伊國ニ於テ  
モ四万五千磅ヲ受クキ程其ノ待遇極テ厚シ

露國義勇艦隊ニ就テ（一九〇六年ヨリ一六五〇年）

露國義勇艦隊ハ恐心ハキ軍事的ノ組織ニテ補助巡洋艦ト謂  
ハシヨリ寧ロ攻撃的ノ兵力ト謂フ可トス英國ノ豫備海軍ヲ構成  
スル士官及兵員ハ能ク其職務ニ堪能ニシテ又彼等ノ指揮操縦ス  
ル汽船ハ皆快速壯美ナル今茲ニ喋々ヲ要セサルモ若シ英露間ノ  
差別ヲ指示セバ義勇艦隊ノ汽船元來軍用ニ設計シテ一時平和  
用ニ供スルモノナル英國汽船ニ於テ然ラズ船主ノ要スル特殊ノ任務  
ニ基テ設計シ不幸ニシテ事變ノ起ルニ會セバ可成軍用ニ適スル様  
ニ注意シタルニ即チ設計ノ精神ニ於テ本末ノ差別劃然見ルハキナ  
リ今日英國ノ補助巡洋艦タルハキ汽船ノ通商ナル大西洋上ニハ  
佛、独、米ノ諸國皆同式ノ壯美船ヲ浮ヘテ繞々往來スルモ露國ハ格  
ハルリシ等式ノ如キ最良汽船ヲ東亞ノ極端ニ走ラズルヲ何ソヤ  
蓋シ浦潮航路ノ如キハ格別迅速ノ速力ヲ必要トス又他ニ競

争船ヲ無キ所ナルニ義勇艦隊會社カ能ク奮于斯ル種類ノ  
良船ヲ製造スルモノハ其ノ目的商賣ヨリモ愛國ノ精神ニ存スル  
昭々ナルニ非ズヤ

0356